

令和4年12月7日

PRESS
RELEASE



国立大学法人
徳島大学

「地域ワークショップ in 徳島（徳島の未来を考える）～2050年のカーボンニュートラル社会実現に向けて～」を開催します

県内ステークホルダーが参集し、2050年の徳島のありたい姿を検討し、そのために何をすべきか議論する「地域ワークショップ in 徳島（徳島の未来を考える）～2050年のカーボンニュートラル社会実現に向けて～」を令和4年12月16日（金）に開催します。

本学は、文部科学省科学技術・学術政策研究所（以下、NISTEP）と共催で、低炭素・脱炭素の実現、将来の地域課題等を踏まえ、2050年の本県のありたい姿（社会像）を検討し、日本政府が宣言しているカーボンニュートラル社会の実現に向けて、必要な取組（研究開発、サービス、社会制度等）や、何をすべきか等を議論するワークショップを開催します。

本議論は、内閣府による次期の科学技術基本計画（2025～30年）検討にあたってのバックデータとなる「第12回科学技術予測調査」に活用されるとともに、今後の各ステークホルダー、県全体の議論に繋げていくものです。ぜひワークショップ当日の取材・報道のほどよろしくお取り計らいください。

名称：「地域ワークショップ in 徳島（徳島の未来を考える）
～2050年のカーボンニュートラル社会実現に向けて～」

日時：令和4年12月16日（金）10～17時

場所：地域創生・国際交流会館 5F フューチャーセンターA.BA
（徳島大学常三島キャンパス）

共催：徳島大学

文部科学省科学技術・学術政策研究所（NISTEP）

参加：徳島大学研究者、徳島県担当職員、民間企業・市民団体・金融機関の関係者が1テーマ当たり5～7名、4テーマで議論

テーマA：豊かな自然が息づく生物環境・農村ふるさと環境

B：企業、個人が積極的にかかわるグリーン経済社会

C：ヒト・モノ・地域がつながる持続可能なまち・モビリティ社会

D：自然災害にしなやかで強いまち・地域・ヒト

スケジュール、出席者、取材の受付等は別紙1のとおり。

770-8501

徳島市新蔵町2丁目24番地

Phone.088-656-7021

<https://www.tokushima-u.ac.jp/>

○スケジュール

種別	プログラム	時間
開会 全体	開 会 挨拶：NISTEP 佐伯 浩治 所長* 徳島大学 河村 保彦 学長 全体説明：趣旨・検討の流れ	10：00
全体 対話	■徳島地域の「未来の状況」のインプット・話し合い・共有 〈NISTEP 未来ビジョンをベースに議論〉 ○2040年に実現している科学技術、カーボンニュートラル、人口動態等 地域の将来予測を説明	10：10
	■対話Ⅰ：理想とする徳島の2050年の姿（将来社会像）の検討	10：40
—	【休憩】 昼食	11：50
テーマ別 対話	■対話Ⅱ：テーマ別の社会像の検討－社会課題含む－ ○社会像を踏まえ、カーボンニュートラル社会を鑑み、実現させたいこと、必要な取組み、ステークホルダー別の戦略・施策の検討、留意点を議論	13：00
全体	■全体共有 ○各グループの発表、意見交換、本日の経験を活かした取組みを意見交換	16：00
閉会	閉 会	16：50

○出席者

*NISTEP 佐伯浩治所長（略歴は別紙2）

徳島大学 河村保彦学長、吉田和文理事（冒頭のみ）

ワークショップ参加者：

徳島大学（鎌田磨人教授（生態系管理工学）、上月康則教授・環境防災研究センター長（生態系工学、津波防災学、環境工学）、奥嶋政嗣教授（交通工学、交通計画学、ソフトコンピューティング）、朝波史香学術研究員（景観生態学））

徳島県職員、阿南高専教員、民間企業、金融機関、市民団体（NPO）関係者

○取材受付

冒頭挨拶、ワークショップにおける議論の様子等進行に支障がない限り全面的に取材いただけます。詳細は、下までお問い合わせ下さい（参加者へのインタビューご希望の際は、あらかじめご連絡をいただけましたら閉会後にセットさせていただきます）。

○本件問い合わせ先

徳島大学研究・産学連携部 研究・産学企画課（江上）【取材受付】

TEL 088-615-2328 / ksfukukacho@tokushima-u.ac.jp

徳島大学副学長（木村）【テーマ内容等】

TEL 088-615-3033 / kimura.kenji@tokushima-u.ac.jp

国立研究所 科学技術・学術政策研究所 (NISTEP)

所長 佐伯 浩治

役職	所長	
氏名 (よみ)	佐伯 浩治 (さえき こうじ)	
主な略歴	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1985年 4月 科学技術庁入庁 ■ 1999年 7月 同庁研究開発局ライフサイエンス課企画官 ■ 2000年 4月 同庁研究開発局ライフサイエンス課生命倫理・安全対策室長 ■ 2001年 1月 文部科学省大臣官房付 (大臣秘書官事務取扱) ■ 2001年 4月 科学技術・学術政策局原子力安全課保安管理企画官 ■ 2001年 8月 科学技術・学術政策局計画官付企画官 ■ 2002年 8月 科学技術・学術政策局原子力安全課査察管理官 ■ 2004年 7月 研究振興局ライフサイエンス課長 ■ 2005年 9月 政策研究大学院大学教授 ■ 2007年 7月 文部科学省科学技術・学術政策局科学技術・学術戦略官 (地域科学技術担当) ■ 2008年 8月 内閣官房内閣参事官・内閣官房宇宙開発戦略本部事務局参事官 ■ 2010年 7月 文部科学省研究開発局宇宙利用課長 ■ 2012年 8月 同省大臣官房参事官 ■ 2014年 7月 文化庁文化部長 ■ 2016年 4月 内閣府宇宙開発戦略推進事務局審議官 ■ 2018年 1月 文部科学省研究開発局長 ■ 2019年 7月 国立研究開発法人科学技術振興機構理事 ■ 2021年 10月 文部科学省科学技術・学術政策研究所長 	